

## 第1回 蕨市将来ビジョン審議会 会議概要

■日 時 令和5年4月28日（金） 午前10時00分～午前11時40分

■場 所 中央公民館1階・集会室

■出席者 （敬称略）

委 員：林大樹（会長）、坪井真（副会長）、武下涼、宮下奈美、古川歩、本田てい子、  
前川やすえ、植田富美子、平田毅、佐藤政美、上野寿一、智内兄助、  
長谷川浩司、岡本和子、山之内正、木田麗花、笹淵敏子、島村幸子

頼高英雄市長

事務局：佐藤慎也（理事）、阿部泰洋（総務部長）、佐藤則之（総務部政策企画室長）、  
島田雅也（総務部政策企画室主幹）、市川翔太（総務部政策企画室主査）、  
小林勇輝（株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング）

### ■次 第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 審議会委員の自己紹介
5. 正副会長選出
6. 蕨市将来構想について（諮問）
7. 議題
  - （1）会議の公開について
  - （2）蕨市 新「将来ビジョン」策定方針について
  - （3）新たな「将来ビジョン」策定に向けた基礎調査結果について
  - （4）蕨市将来ビジョン審議会のスケジュール
  - （5）その他
8. 閉会

### ■内 容

#### 【委嘱状交付】

市長から委員を代表して、林大樹委員に委嘱状が手渡された。

#### 【市長あいさつ】

市 長：皆様方には大変お忙しい中、本審議会の委員をお引き受けいただき、改めて感

謝いたします。

「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンを平成26年に策定して以降、多くの方々のご協力をいただきながら、ビジョンに基づくさまざまな施策を進めてきました。安全・安心のまちづくりでは、公共施設の耐震化が大きく前進し、新庁舎がこの秋に完成します。また、防犯対策では防犯灯のLED化や140台の防犯カメラの設置などに取り組み、犯罪件数を大幅に減少することができました。子育て支援に関しては、大きな社会問題になった待機児童問題に対し、保育園を増設することで、2年連続で待機児童を0人にする事ができ、また、あわせて学童保育室も倍以上に増設してきました。こうした取組などにより、市民意識調査では、蕨市が「子育てしやすいまち」であるという回答が80%近くとなっています。教育の面では、生徒ひとり1台のパソコンを配布するとともに、Wi-Fi環境の整備などに取り組みました。

また、音楽のまちづくりや蕨ブランドの認定なども進めてきましたが、こうした取組の他に、新型コロナウイルス感染症への対応や、物価高騰対策にも積極的に取り組んでいるところです。

令和6年度からの新しい将来ビジョンの策定にあたっては、皆様の忌憚のない意見を広くいただきながら、蕨市をさらに発展していけるようなビジョンをつくっていきたいと考えています。財政健全化の成果のうえに立って蕨市がさらなる飛躍をしていけるような計画を皆様と一緒に策定していきたいと思っていますので、お力添えを重ねてお願いいたします。

#### 【審議会委員の自己紹介】

審議会委員一人ひとりが、自己紹介をした。

#### 【正副会長選出】

会長に林委員、副会長に坪井委員を選出した。

会長：皆様と一緒に丁寧且つ活発な議論をして次のビジョンをつくっていきたいと考えている。よろしくお願ひしたい。

副会長：市民の立場で皆様と一緒に議論していきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

#### 【蕨市将来構想について（諮問）】

蕨市将来ビジョン審議会条例第1条の規定に基づき、市長から審議会会長に、蕨市将来構想の策定について、調査、審議を求める諮問書が手渡された。

## 【議題】

### (1) 会議の公開について

事務局から、会議の公開について概要を説明した。(資料3・4参照)

委員：傍聴希望者が6人を超える場合はくじ引きとあるが、希望者全員に傍聴してもらうことに不具合はあるのか。

事務局：今後もこの会場を使う予定であり、現状可能なスペースとしては6席程度と判断したが、スペースの融通がつけられれば、柔軟に対応することは可能である。

委員：市民の方は会議の開催をどうやって知るのか。

事務局：市ホームページで事前に会議の日程を案内しているので、傍聴希望者は当日に申し込みをする流れである。

委員：当日わざわざ会場まで来て、抽選に漏れた人は酷な気がする。

会長：傍聴については、希望者には可能な限り配慮し柔軟に対応するという事によいか。

⇒会議の公開については、資料3「蕨市審議会等の会議の公開に関する要綱」および資料4「蕨市将来ビジョン審議会の会議の傍聴にかかる取り決め(案)」のとおり扱うこととしつつ、傍聴希望者が多数の場合は、すべての人が傍聴できるよう可能な限り配慮することです承した。

### (2) 蕨市 新「将来ビジョン」策定方針について

事務局から、新「将来ビジョン」策定方針について説明した。(資料5参照)

委員：広く市民の方の意見を聞くことが示されており良いと思う。特に若者の意見を聞くことは重要であり、こうした意見を反映していくことで、より魅力的な計画になると思う。

### (3) 新たな「将来ビジョン」策定に向けた基礎調査結果について

事務局から、「新たな『将来ビジョン』策定に向けた基礎調査報告書」について説明した。(資料6参照)

委員：調査したなかで、蕨市の強みは何であると考えられるか。

事務局：キーパーソンヒアリングでの様々な方からのご意見で、地域の繋がり、コミュニティが強いということは改めて認識している。高齢化で難しい面も出てきているとの声もあるが、引き続き大きな強みであるといえると思う。また、統計資料からは、全国や県と比較して、生産年齢人口の割合が高いという点など

が強みであるといえると思う。

委員：今後の議論にあたっては、蕨市の強みがより明確になれば、目指す方向性がよりはっきりとしてくると思う。

副会長：蕨市は高齢者の比率が高く、高齢者単独世帯の割合が高いと資料にある。現実を把握するために、民生委員が把握している高齢者の困り事などの具体的な事例を教えてほしい。

委員：高齢者のひとり暮らしが増え、町会に加入していても当番ができない、町会役員になっても集金ができないなどと聞く。民生委員など見守る側も高齢化しており、今後どうなっていくか注視する必要がある。

委員：基礎調査の資料のなかで、蕨市のお祭りとして、わらてつまつりのことが触れられていない。わらてつまつりは、蕨駅開業120周年を機に始まったお祭りであるが、蕨駅は今年開業130周年を迎え、また蕨は新幹線発祥の地であることなども地域資源と考えられる。このお祭りは、小さいお子さんからお年寄りまで参加でき、町会や地域の協力のもとで実現している大切な取組である。

委員：国の政策としても、子育て支援に力を入れているのは理解できるが、介護・医療など、高齢者の方へももう少しスポットを当てて取り組んでもらいたいと思う。

委員：蕨市の今を支えている人たちの多くが、これから後期高齢者になっていく。宿場まつり、機まつりなどに関わる人たちも高齢になっており、また一部の担い手に役割が集中している。このままでは10年後に同じ規模の祭りを継続していくことができるのか未知数であり、若い世代のまちづくりへの参加が喫緊の課題になっていくと思う。コミュニティへの参加の間口を広げていくことができないだろうか。

委員：蕨市は人口の1割が外国人であり、市民に多文化共生の意識をもってもらう必要があると感じている。積極的に外国人に話しかけ、外国人にもコミュニティに関わってもらうことでマナーや慣習の問題がスムーズに伝わるのではないかと思う。10年の計画をたて、住みやすい蕨を考えるときには、多文化共生の視点は非常に重要であり、外国人抜きでは考えられない。

委員：基礎調査報告書中、国や県の「主な関連計画」が示されているが、これらの国や県の計画に、蕨市がどのように関わってきたか、具体的に知りたい。

事務局：総合戦略、国土強靱化計画など、国・県の計画があり、その流れの中で蕨市も、市の総合戦略、国土強靱化計画などそれぞれの計画を、市の地域性や実態を踏まえ策定している。

委員：実際に、実行・実施に当たって、蕨市がどういったところで国や県と関わってきているのかが見えればもう少しわかりやすいと思う。また、蕨市の商業に関しては、少し衰退してきているのではとも感じるが、どこを見るとその状況がわかるか。

事務局：基礎調査報告書中では、商業の状況（事業所数や従業者数の推移）については、平成28年の経済センサスの値が最新値として示されているが、直近の状況が報告書の作成時点では公表されていない。しかしながら、商店街が厳しい状況にあるということは課題として認識している。

#### （４）蕨市将来ビジョン審議会のスケジュールについて

事務局から、今後の審議会のスケジュールについて説明した。（資料7参照）

委員：今後の議論に当たっては、テーマを絞ってもらえると、意見が言いやすく、議論しやすい。

委員：蕨市の行政計画の体系図を示していただけるとわかりやすいと思う。

委員：会議のそれぞれの回で何を議論するか、ゴールイメージを示していただくと議論しやすいので、事前にわかれば提示してほしい。

事務局：ご意見については、今後の会議運営に当たって、できるだけ配慮させていただきたいと思う。

#### （５）その他

特になし

【閉会】

以上